

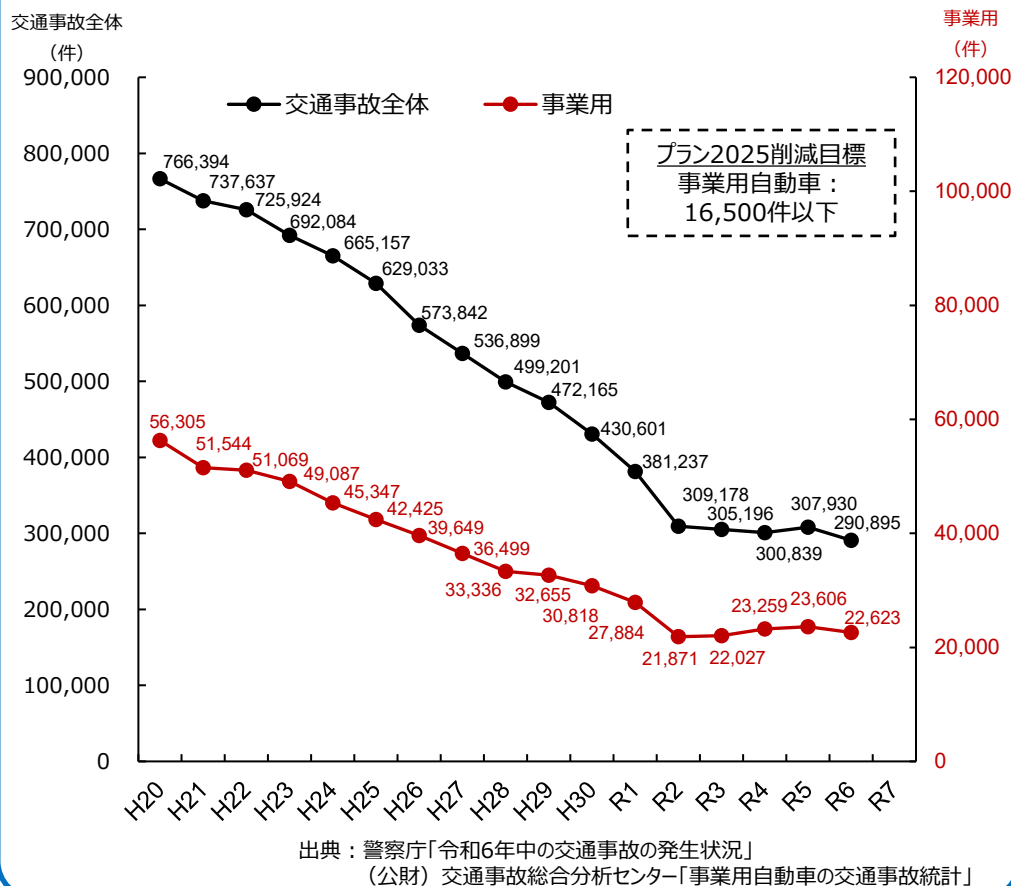
最近の交通事故発生状況

令和7年度第1回「事業用自動車に係る総合的安全対策検討委員会」

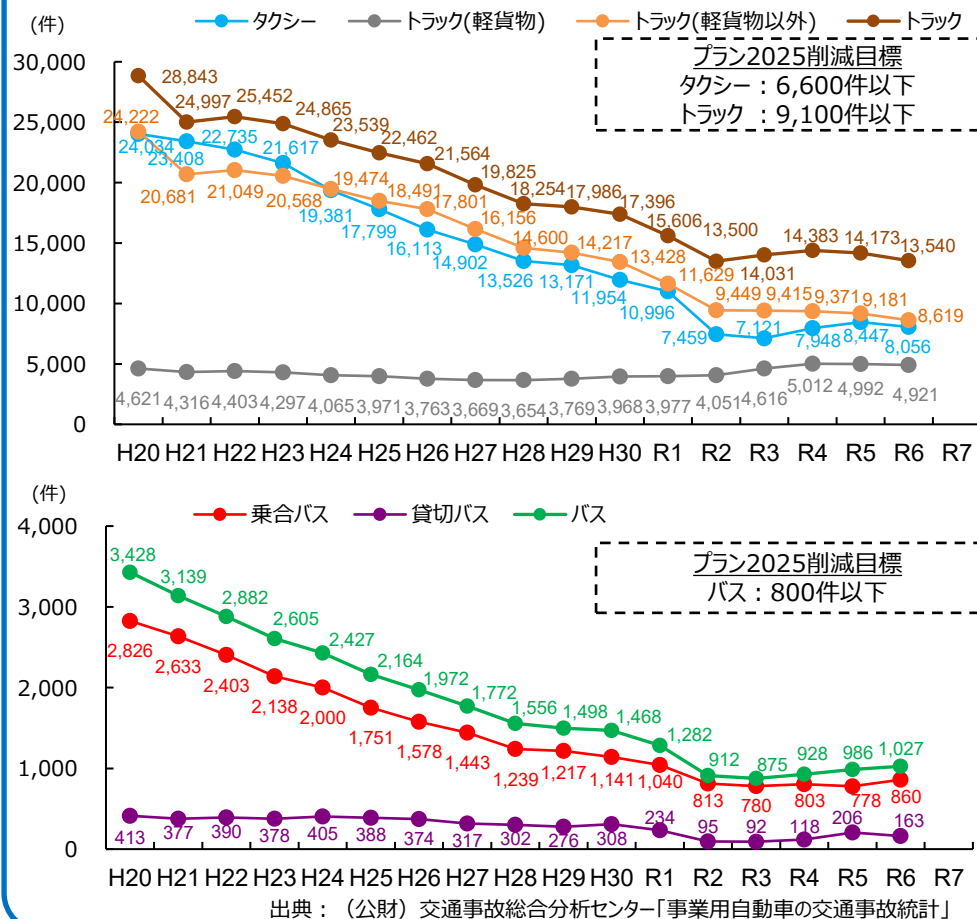
事業用自動車による交通事故件数の推移

- 令和6年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は290,895件、そのうち、事業用自動車の交通事故件数※1は22,623件であった。 ※1 事業用自動車が第一当事者である人身事故件数
 - 令和元年※2と比較して令和6年の交通事故件数は軽貨物以外の全モードにおいて減少している。
- ※2 プラン2025より前の年であって、コロナ禍の影響がなかった直近の年

交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



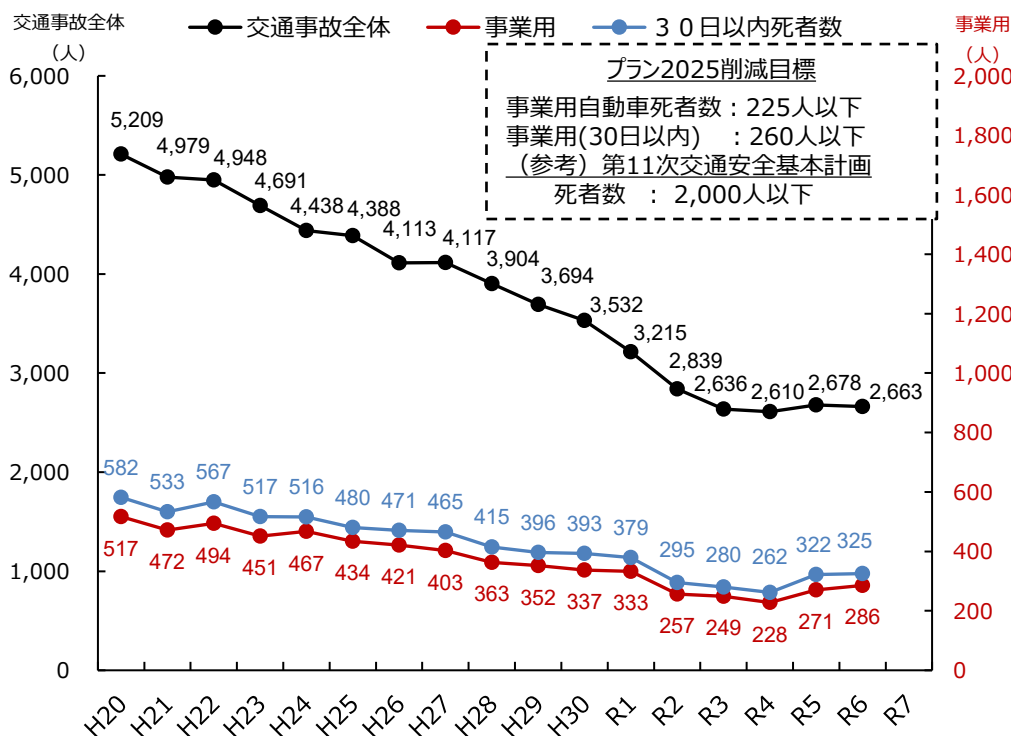
各モードの交通事故の推移



事業用自動車による交通事故死者数の推移

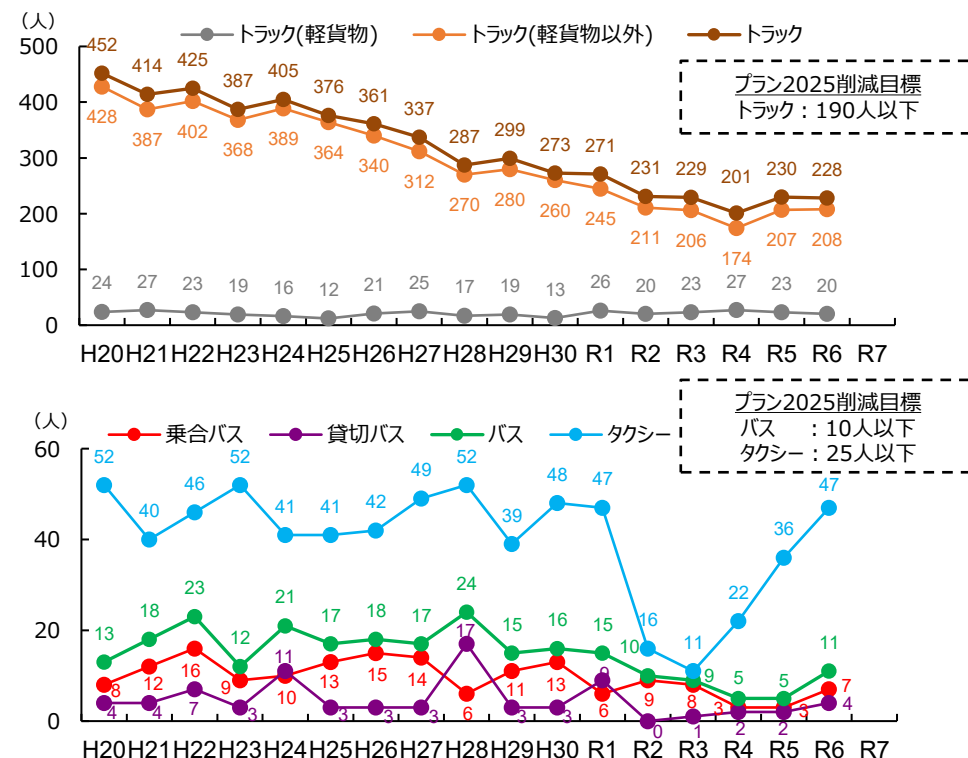
- 令和6年中に発生した交通事故全体の死者数は2,663人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は286人（前年比15人増）であった。
- 令和元年と比較して令和6年の交通事故死者数は、乗合バスにおいて増加、タクシーにおいては同数となっている。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



出典：警察庁「令和6年中の交通事故の発生状況」
（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故死者数の推移

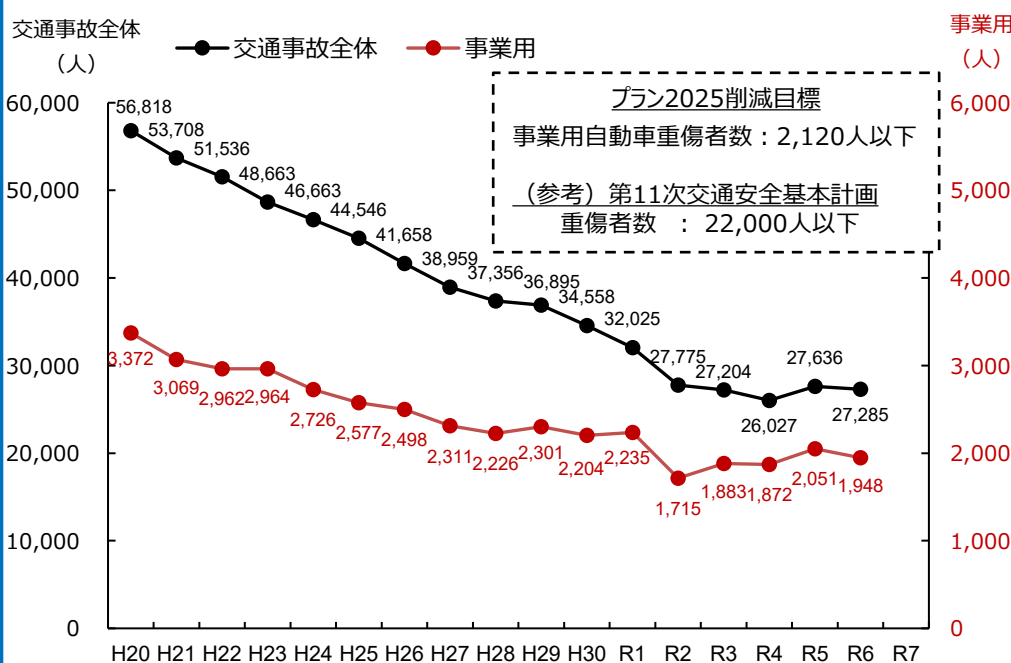


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

事業用自動車による交通事故重傷者の推移

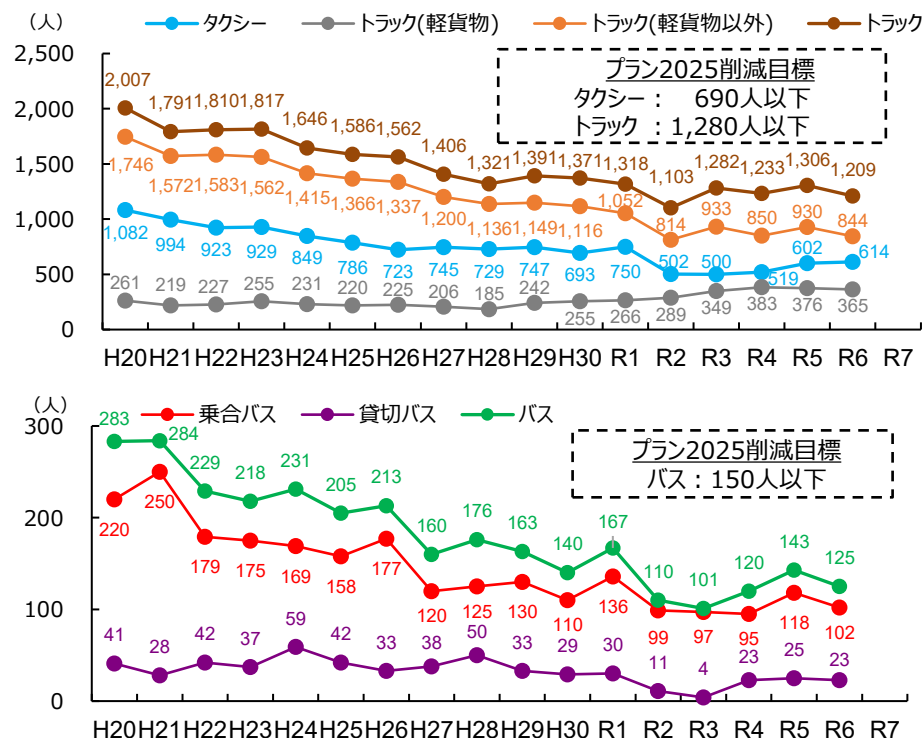
- 令和6年中に発生した交通事故全体の重傷者は27,285人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故重傷者数は1,948人（前年比103人減）であった。
- 令和元年と比較して令和6年の交通事故重傷者数は軽貨物以外の全モードにおいて減少している。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故重傷者数の推移



出典：警察庁「令和6年中の交通事故の発生状況」
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

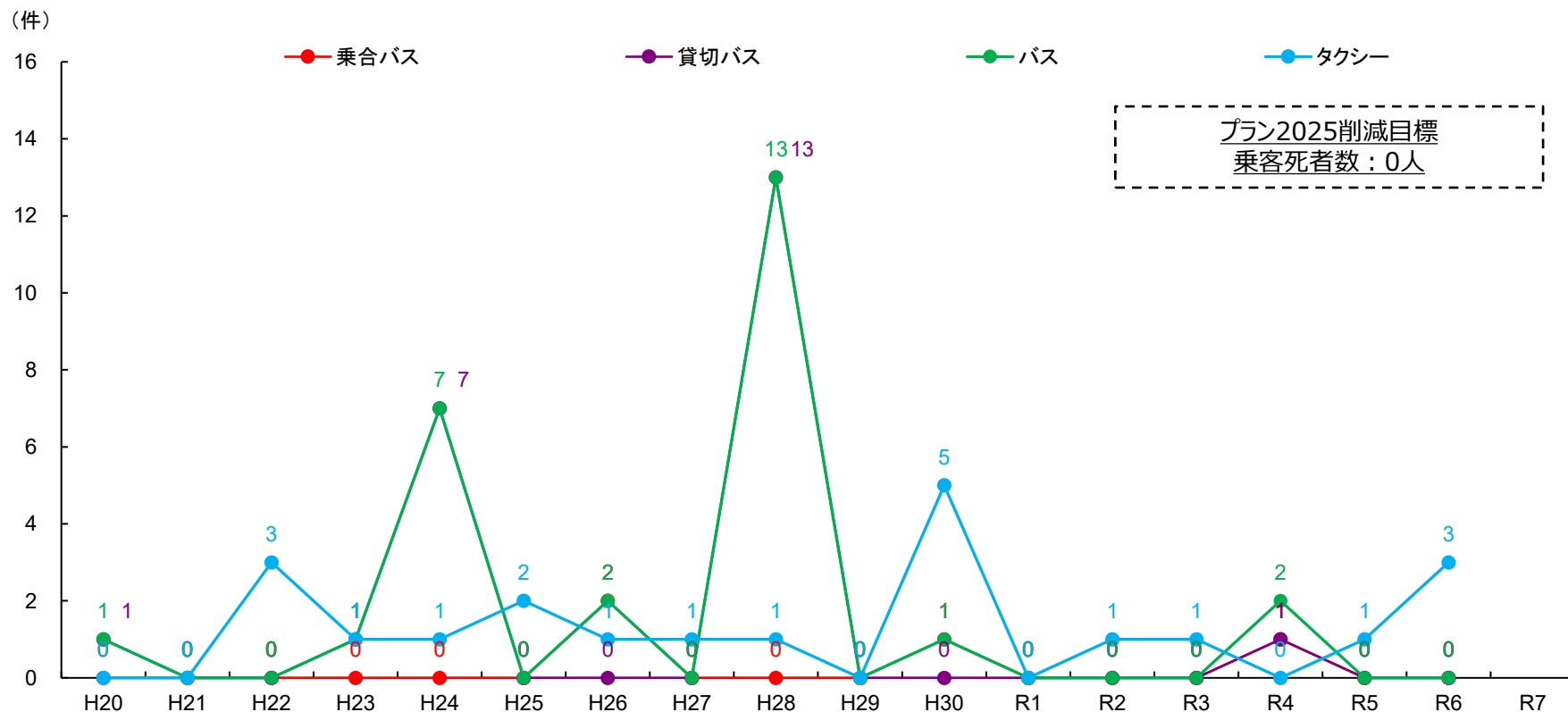
各モードの交通事故重傷者の推移



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 令和6年のバスによる乗客死者数は0人、タクシーによる乗客死者数は3人であった。
- バス、タクシーともに年によって乗客死者数が0人となっている。

バス、タクシーによる乗客死者数の推移

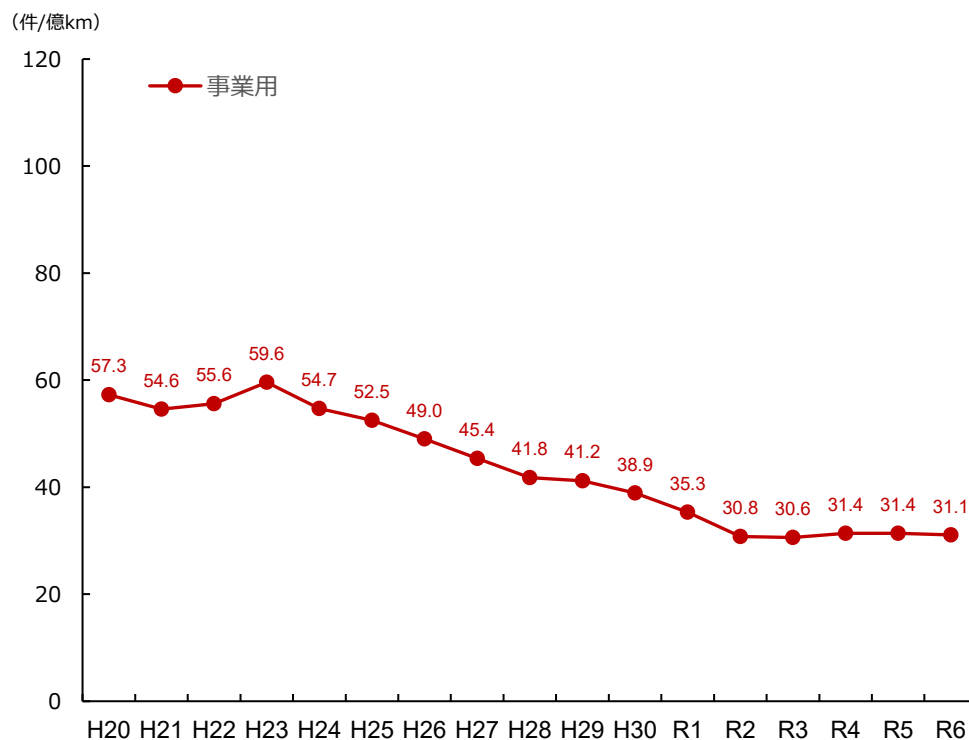


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故の推移

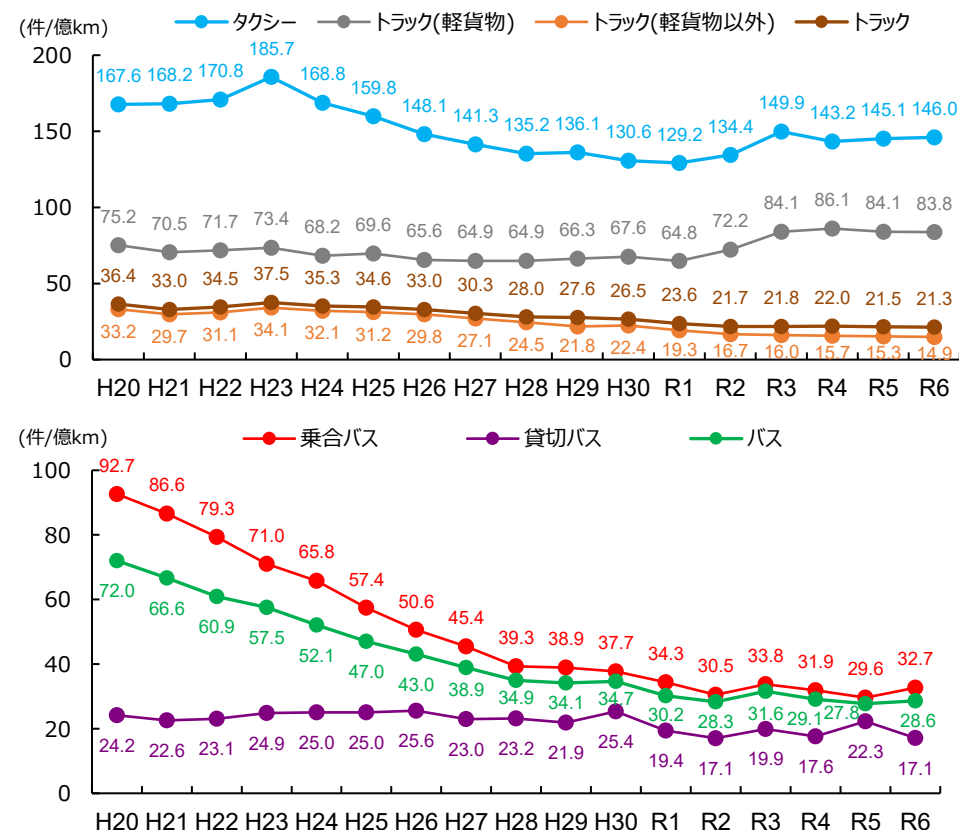
- 令和6年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故件数は31.1件/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和6年の走行距離1億キロあたりの交通事故件数は、タクシー及び軽貨物において増加している。

事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

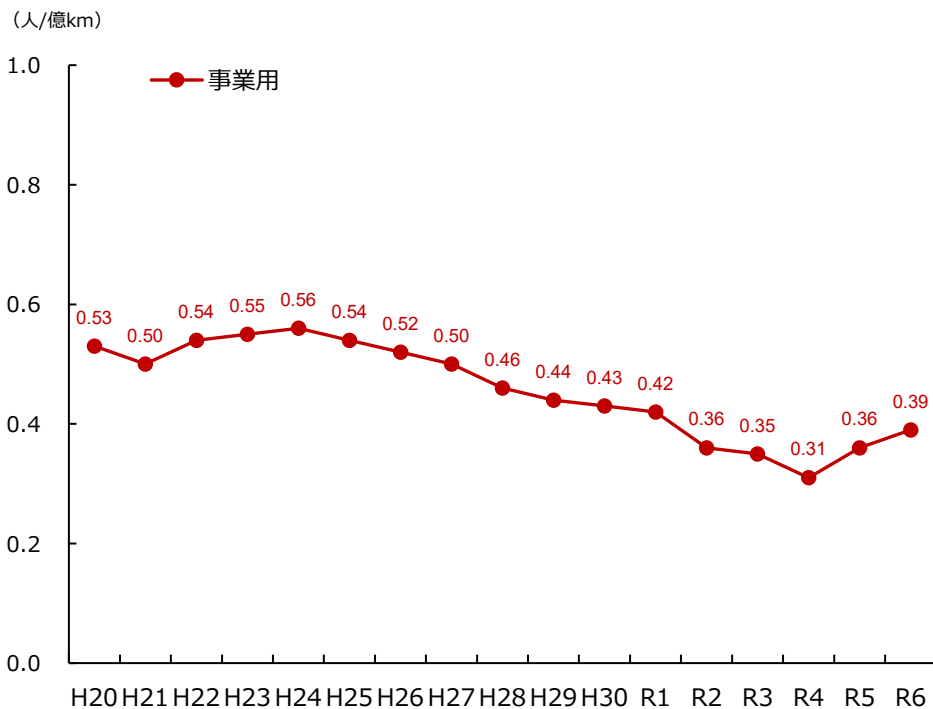
各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

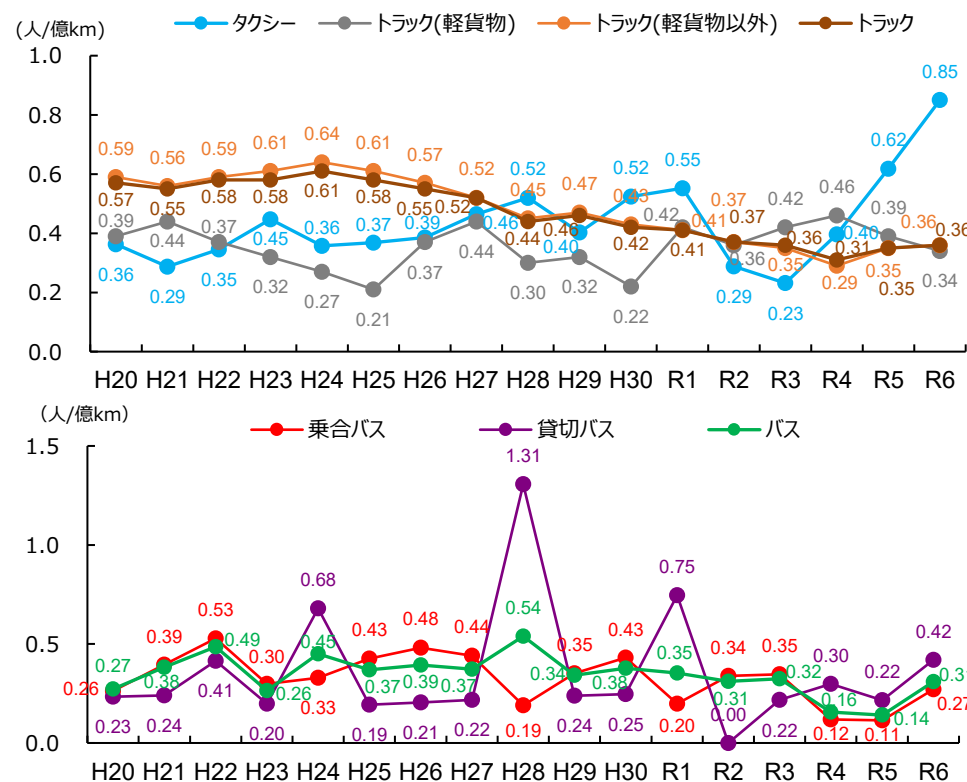
- 令和6年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は0.39人/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和6年の走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は、乗合バス及びタクシーにおいて増加している。

事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移

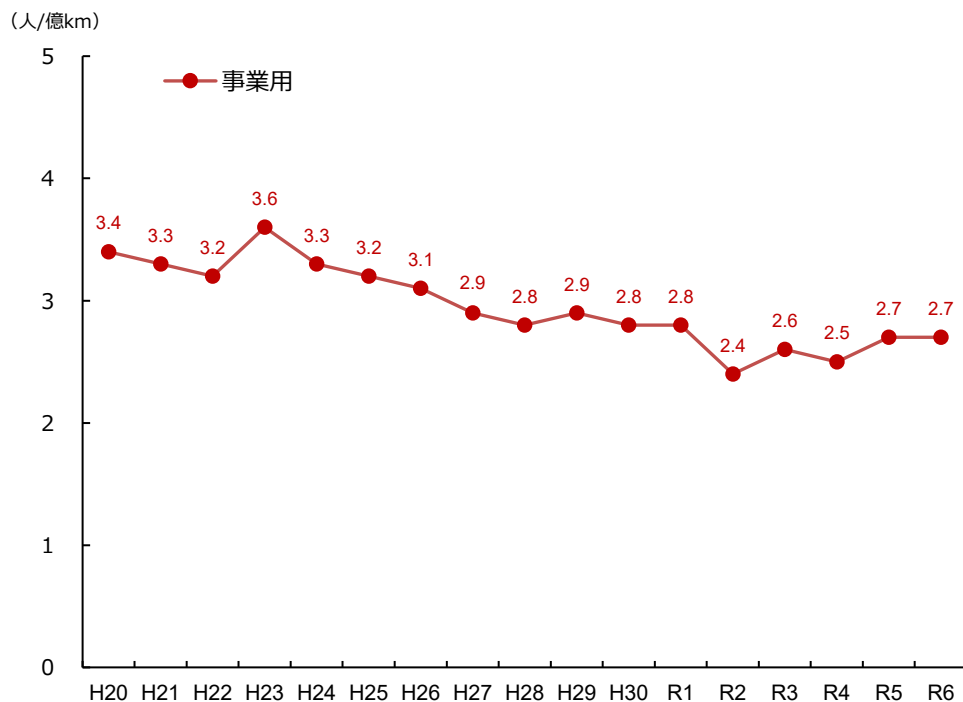


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数の推移

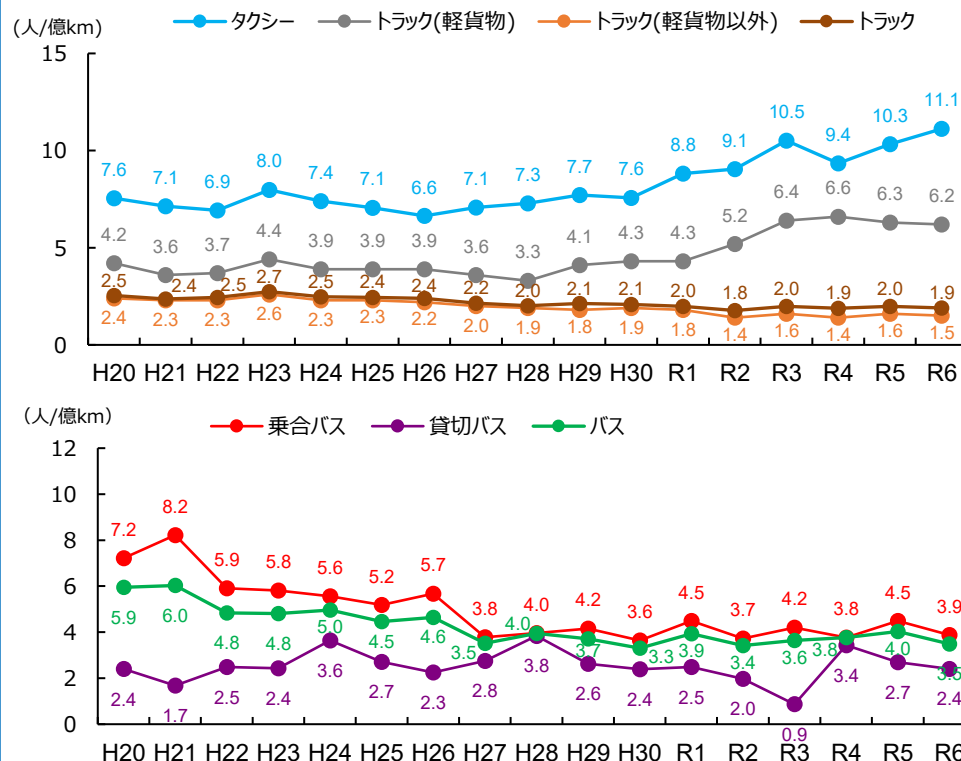
- 令和6年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数は2.7人/億km。
- 令和元年と比較して令和6年の走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数は、タクシー及び軽貨物において増加している。

事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

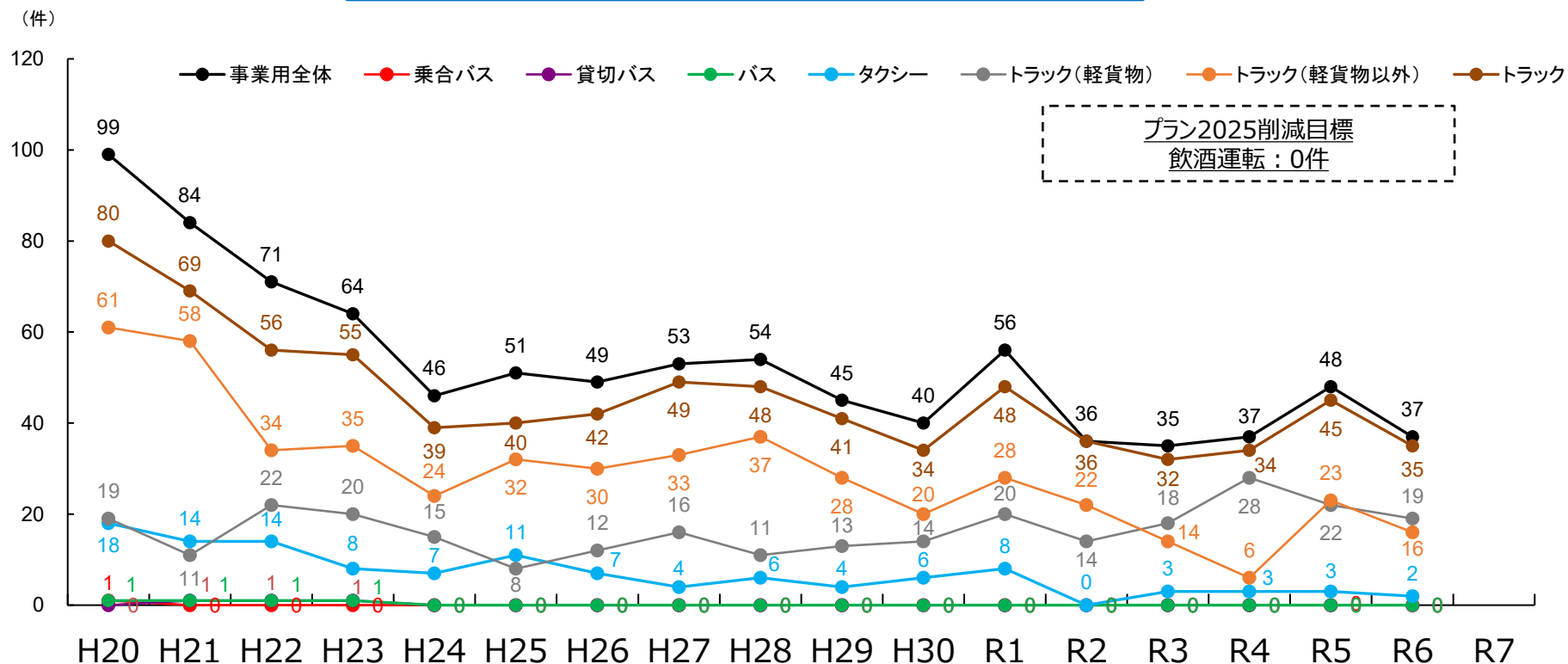
各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

- 事業用自動車による令和6年の飲酒運転事故件数は37件で、その内35件がトラックにおける事故。
- 令和元年と比較して令和6年の飲酒運転事故件数は、全モードにおいて減少している。

飲酒運転による事業用自動車の交通事故



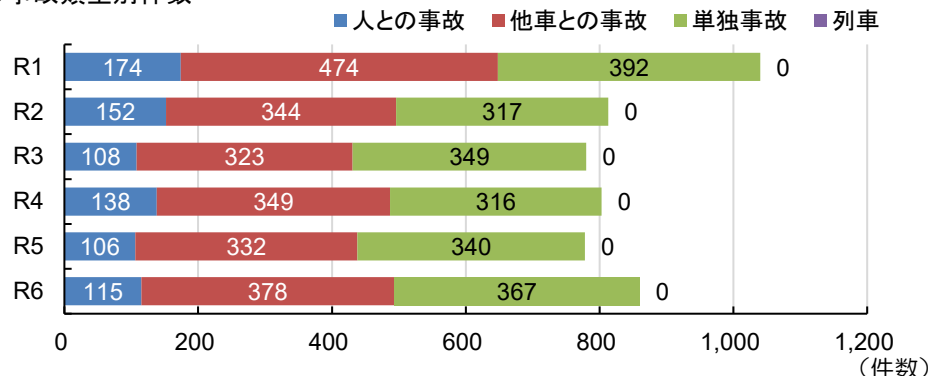
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

○ 乗合バスの事故類型としては、「車内事故」が全体の約3割にあたる280件発生しており、最多。ただし、車内事故による死亡事故は発生していない。

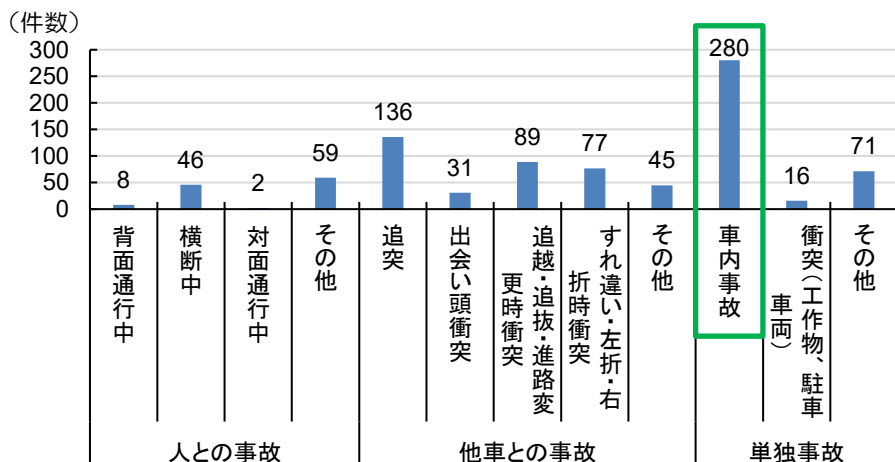
○ 乗合バスの死亡事故類型としては、「横断中」などの人との事故が多い。

乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

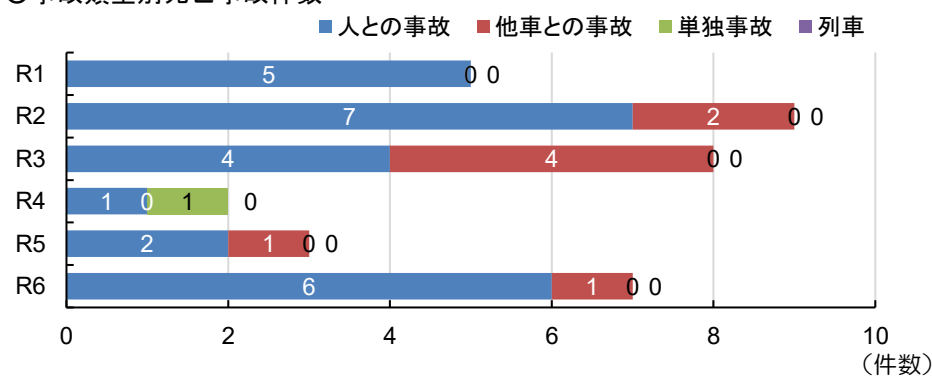


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

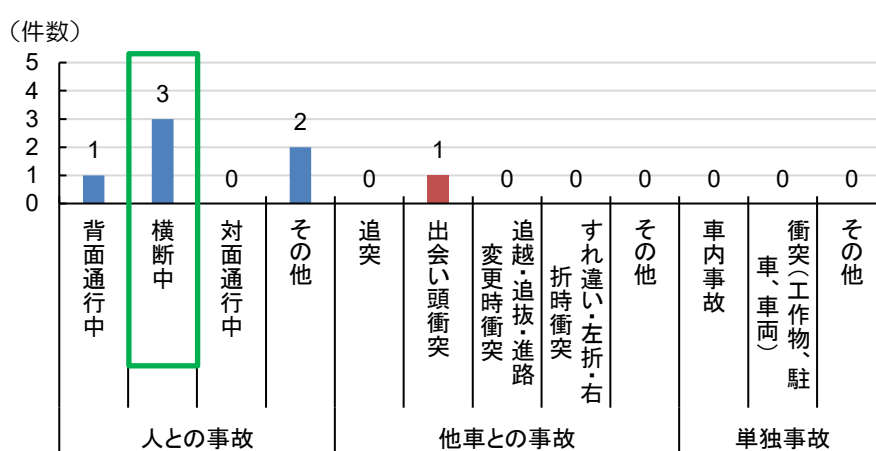


乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

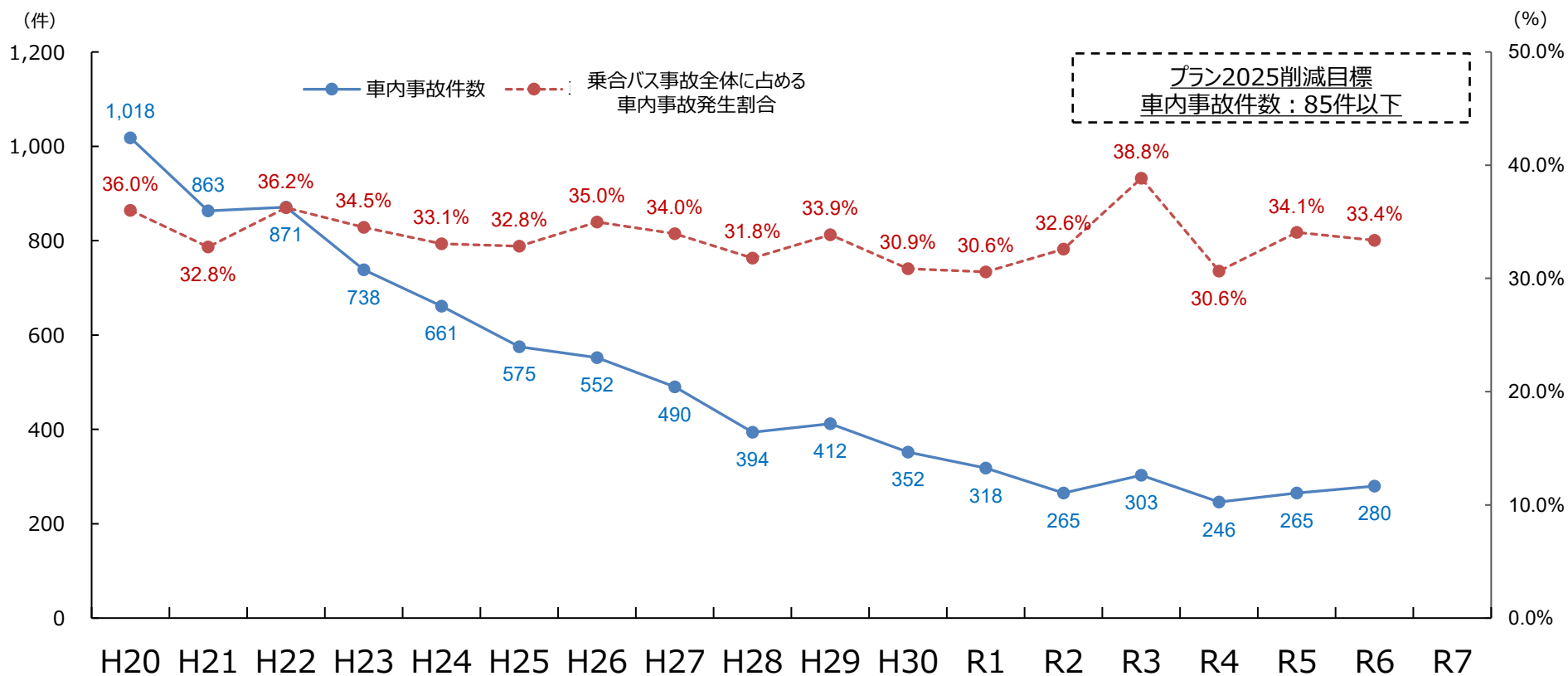


○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳



- 乗合バスによる令和6年の車内事故件数は280件で、令和元年と比較して38件減であった。
- 乗合バス事故全体に占める車内事故件数の令和6年の割合は33.4%で、令和元年と比較して2.8pt増であった。

乗合バスによる車内事故件数と発生割合



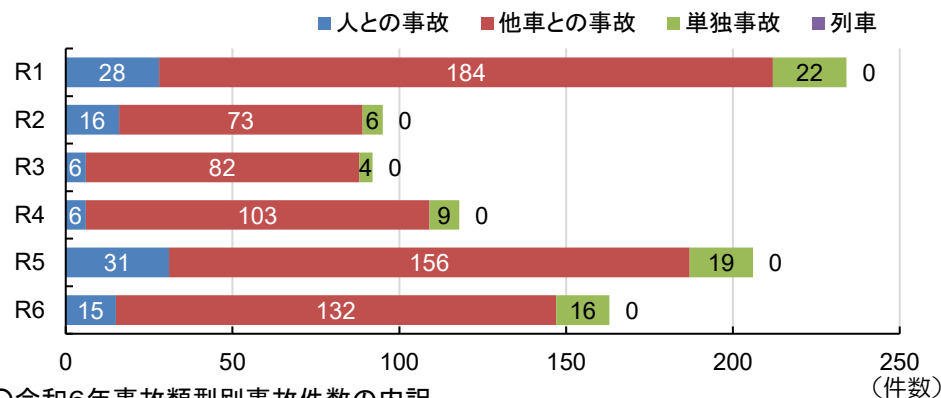
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

業態別の特徴的な事故(貸切バス)

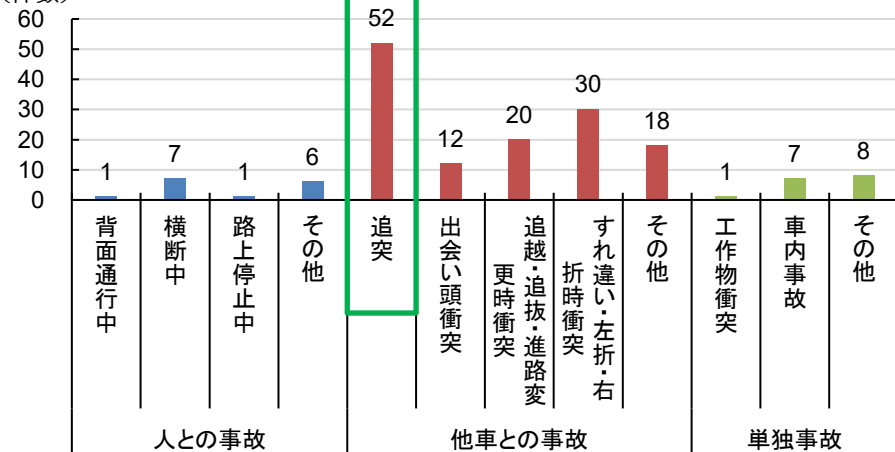
- 貸切バスの事故類型としては、「追突」が全体の約3割にあたる52件発生しており、最多。ただし、追突による死亡事故は発生していない。
- 貸切バスの死亡事故類型としては、人との事故が多い。

貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

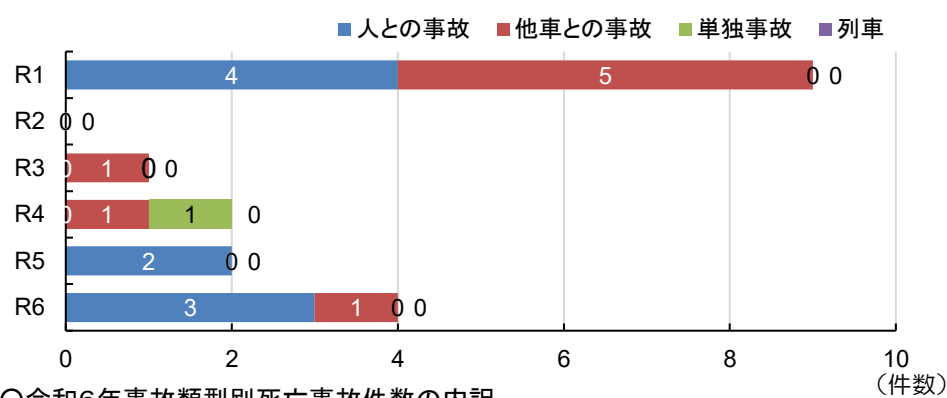


○令和6年事故類型別事故件数の内訳
(件数)

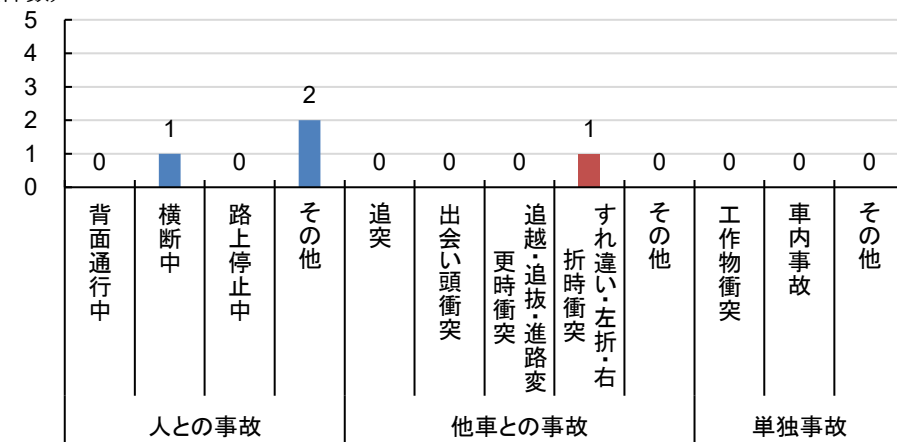


貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

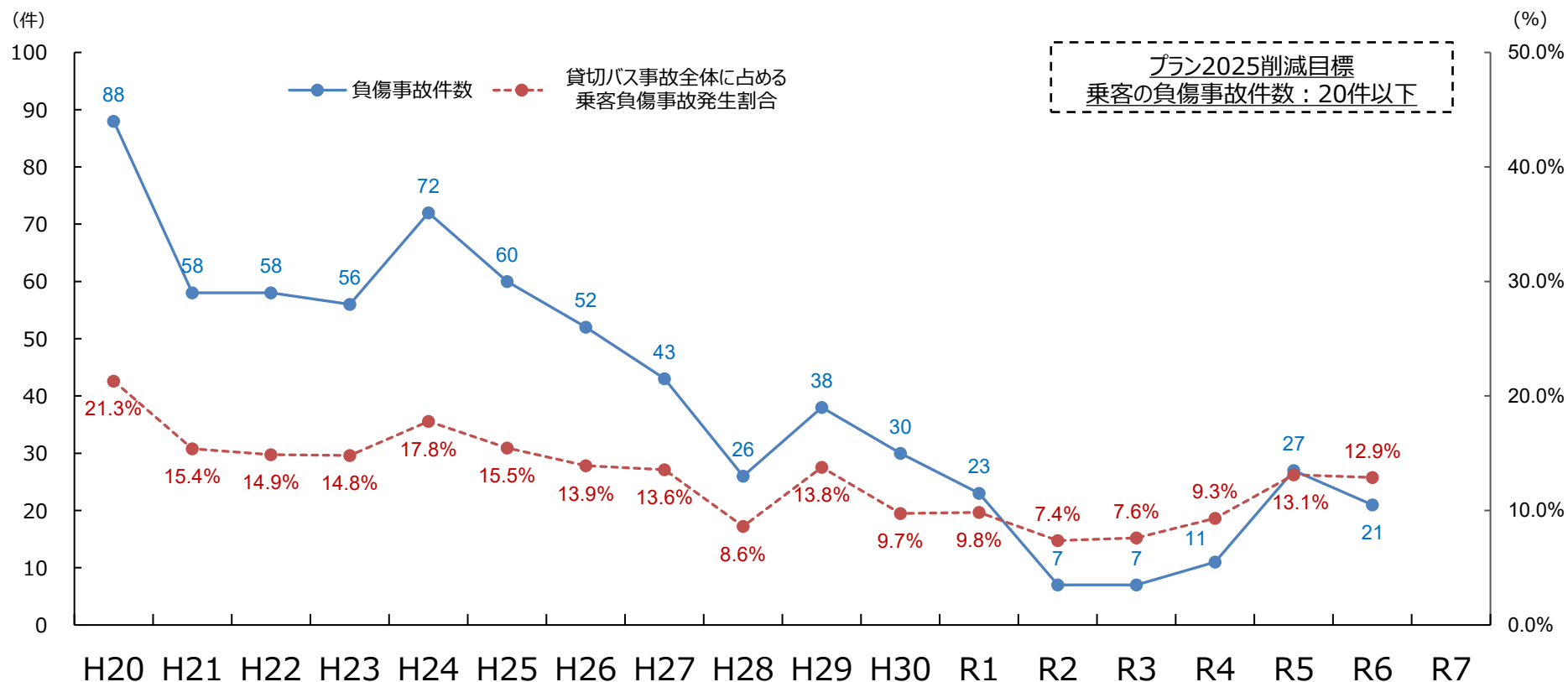


○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳
(件数)



- 貸切バスによる令和6年の乗客負傷事故件数は21件で、令和元年と比較して2件減であった。
- 貸切バス事故全体に占める乗客負傷事故件数の令和6年の発生割合は12.9%で、令和元年と比較して3.1pt増であった。

貸切バスによる乗客負傷事故件数と発生割合



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

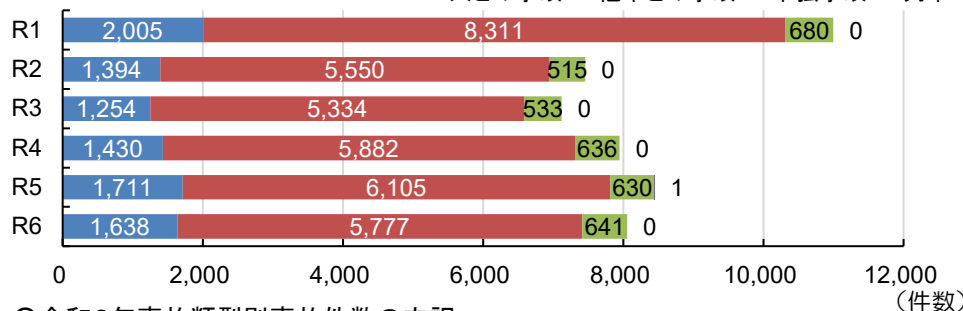
業態別の特徴的な事故(タクシー)

- タクシーの事故類型としては、「追突」、「出会い頭衝突」の順に多い。ただし、両方の事故ともに死亡事故は発生していない。
- タクシーの死亡事故類型としては、人との事故、特に路上横臥中が最も多い。

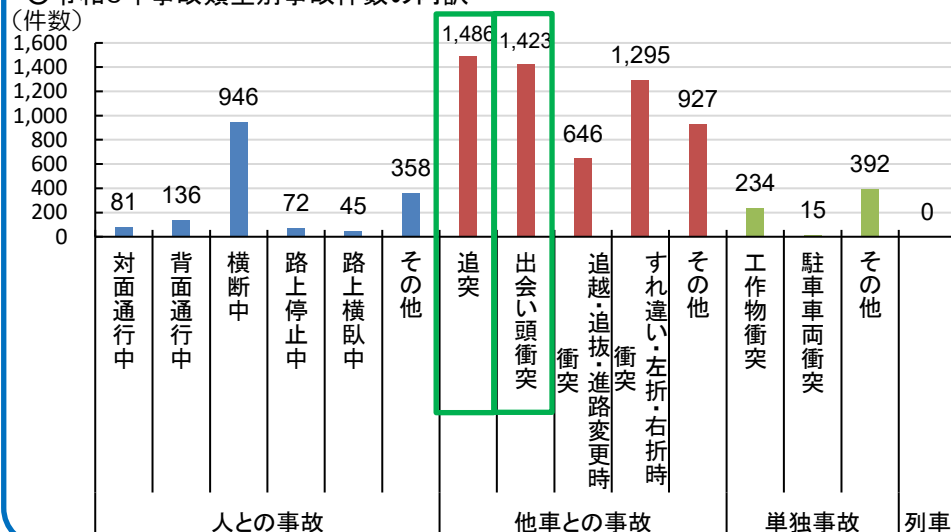
タクシーの事故類型

○事故類型別件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故 ■列車



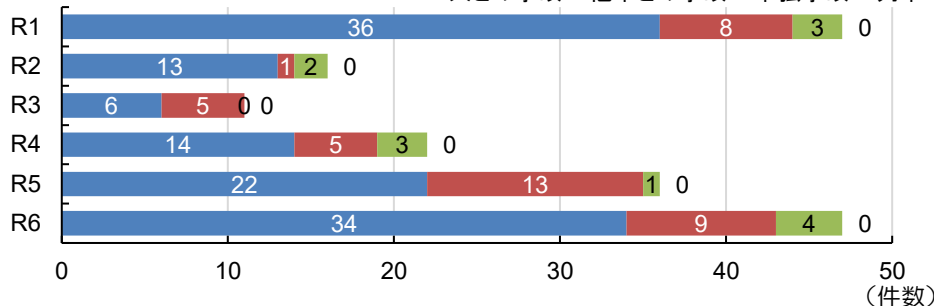
○令和6年事故類型別事故件数の内訳



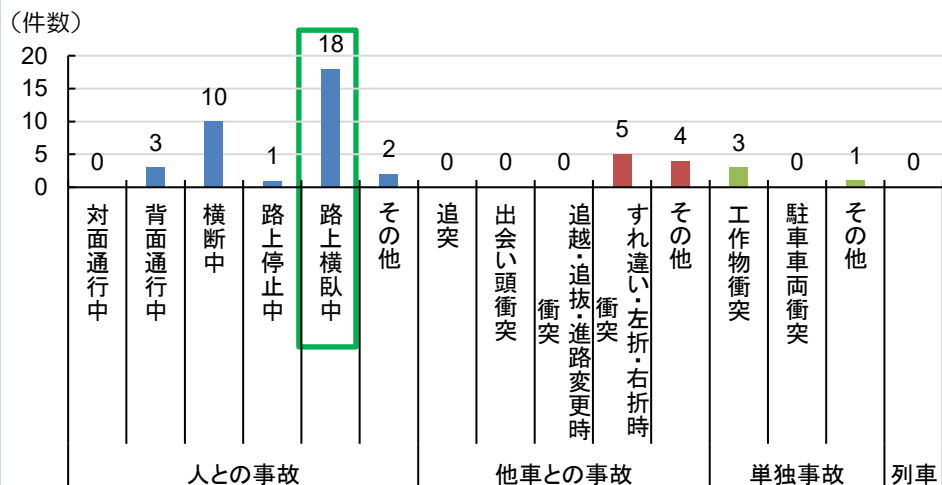
タクシーの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故 ■列車



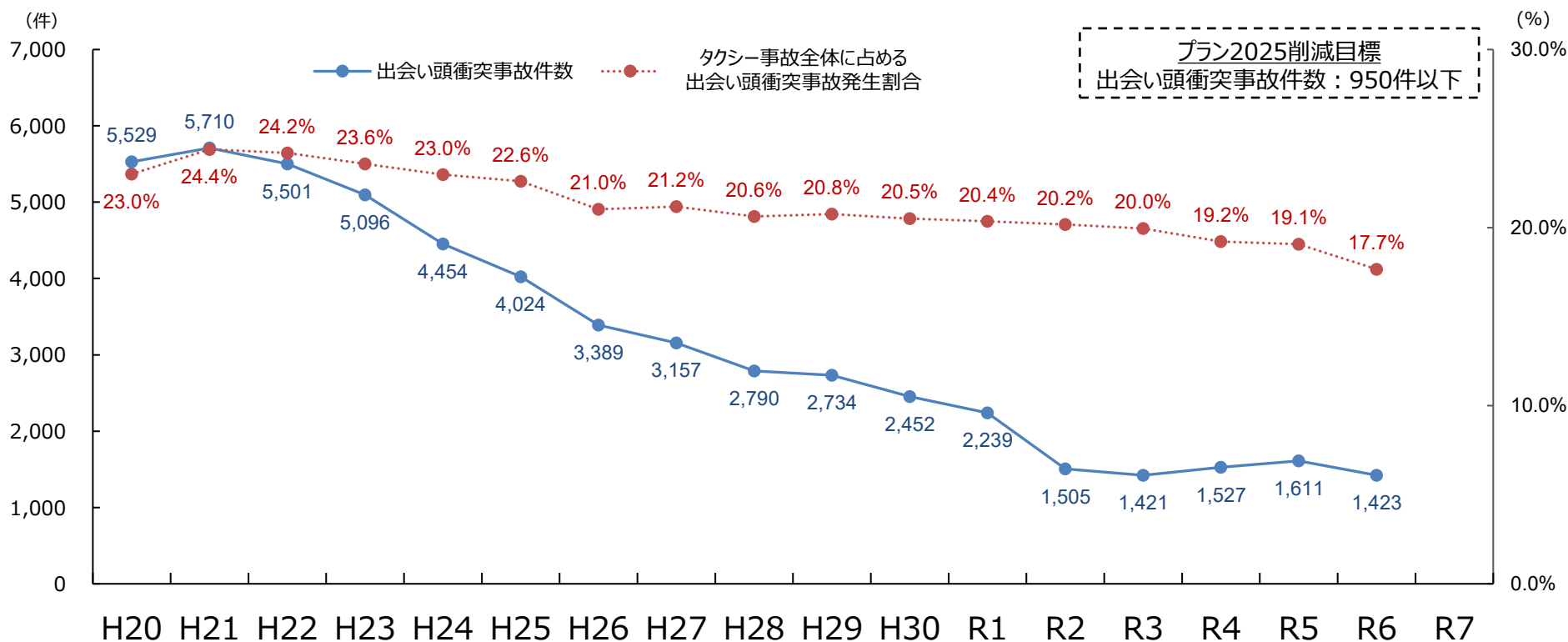
○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳



タクシーによる出会い頭衝突事故件数の推移

- タクシーによる令和6年の出会い頭衝突事故件数は1,423件で、令和元年と比較して816件減であった。
- タクシー事故全体に占める出会い頭衝突事故件数の令和6年の発生割合は17.7%で、令和元年と比較して2.7pt減であった。

タクシーによる出会い頭衝突事故件数と発生割合

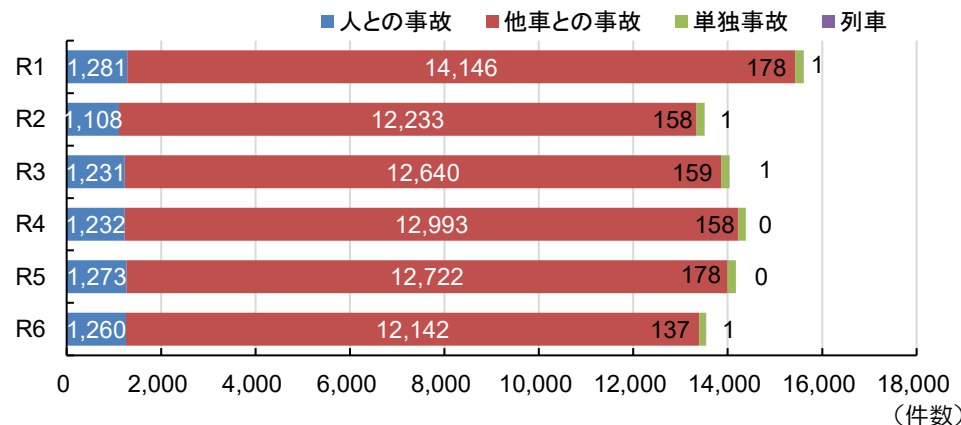


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

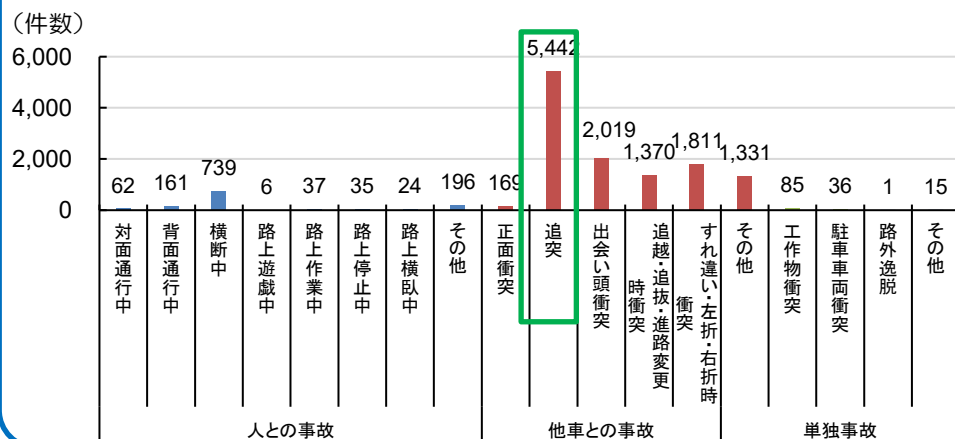
- トラックの事故類型としては、「**追突**」が全体の約4割にあたる5,442件発生しており、最多。追突による**死亡事故**も**38件**発生している。
- トラックの死亡事故事故類型としては、「**横断中**」の**人との事故**が**最も多い**。

トラックの事故類型

○事故類型別件数

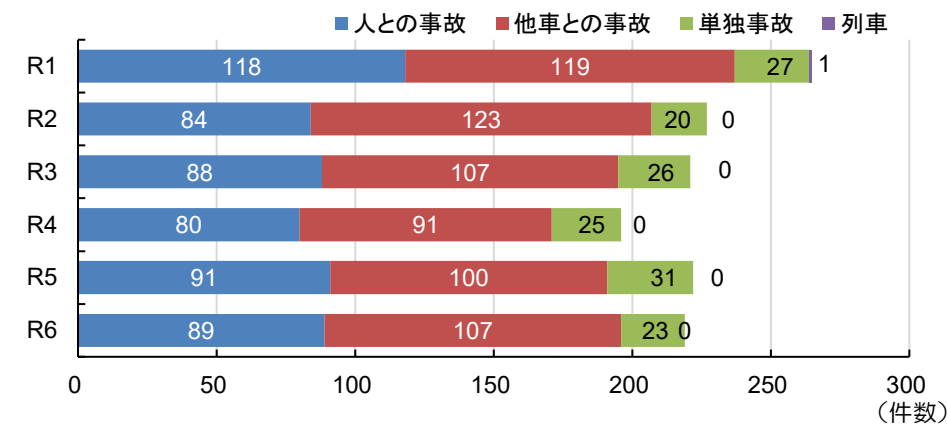


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

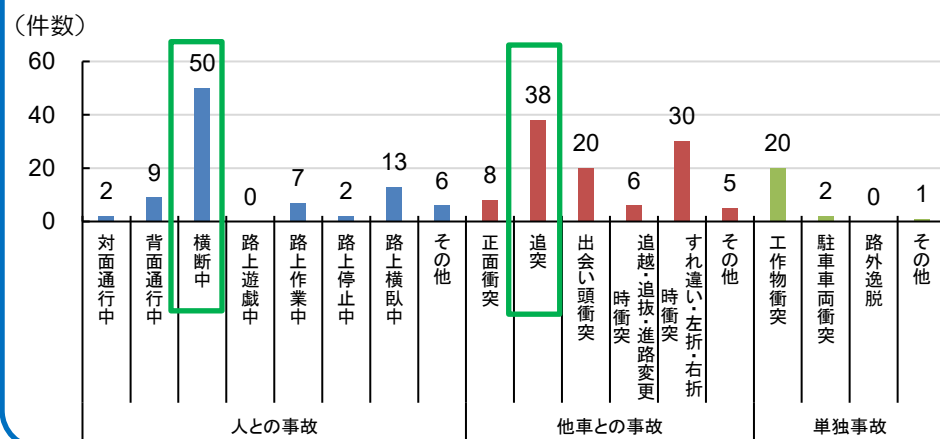


トラックの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



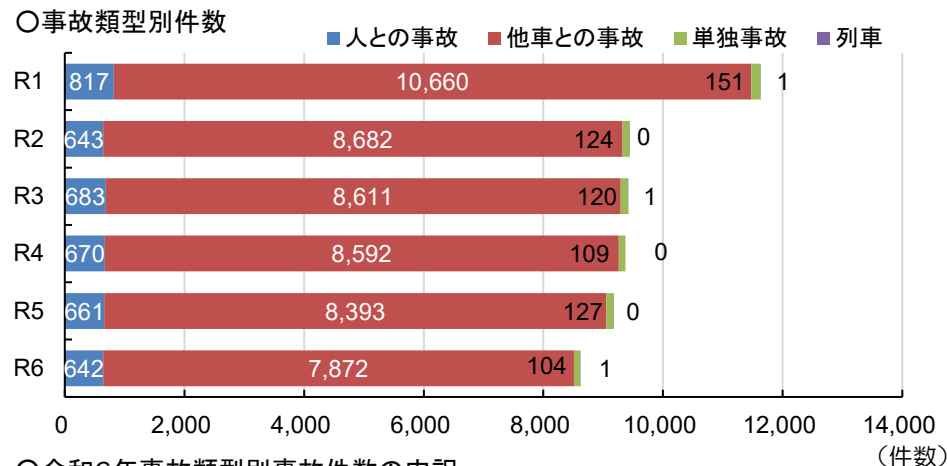
○令和6年事故類型別死亡事故件数の内訳



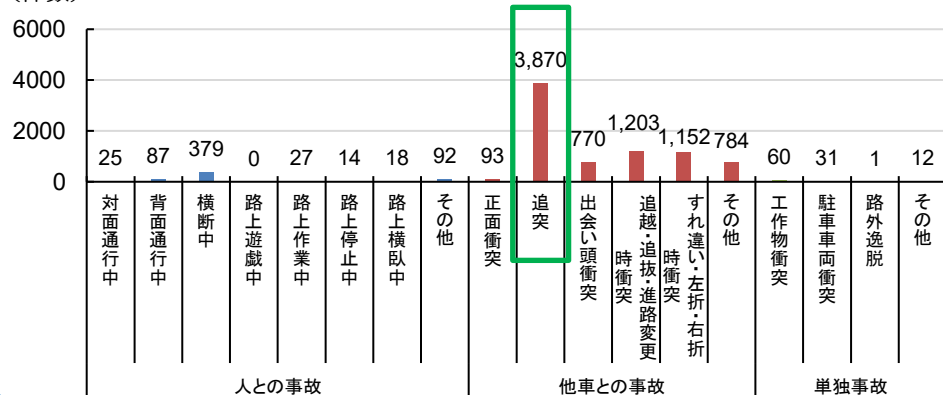
業態別の特徴的な事故(軽貨物以外のトラック)

- 軽貨物以外のトラックの事故類型としては、「**追突**」が全体の約5割にあたる3,870件発生しており、最多。追突による**死亡事故も38件発生**している。
- 軽貨物以外のトラックの死亡事故事故類型としては、「**横断中**」の人との事故、「**追突**」が多い。

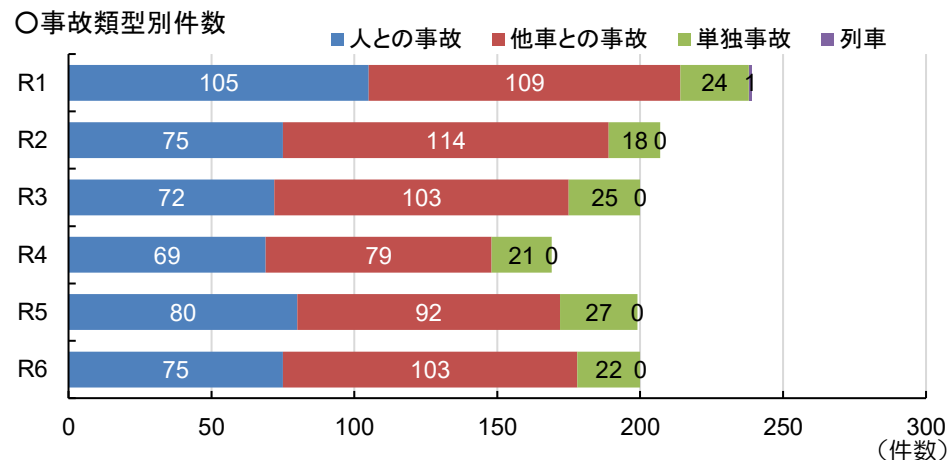
軽貨物以外のトラックの事故類型



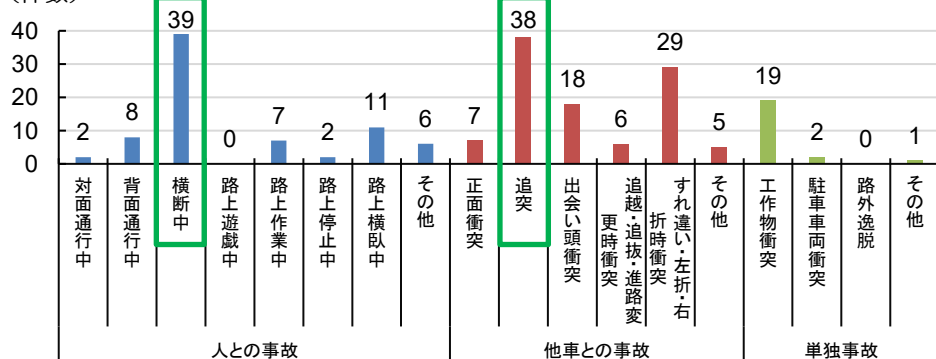
○令和6年事故類型別事故件数の内訳



軽貨物以外のトラックの死亡事故類型



○令和6年死亡事故類型別事故件数の内訳

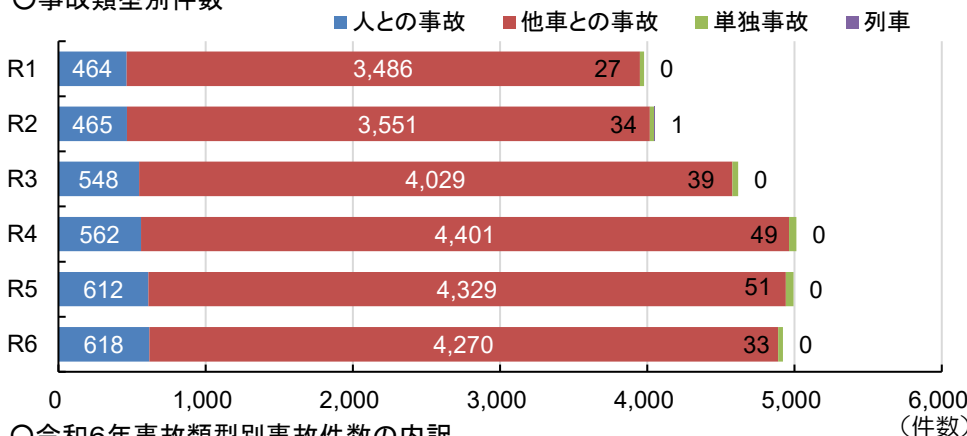


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

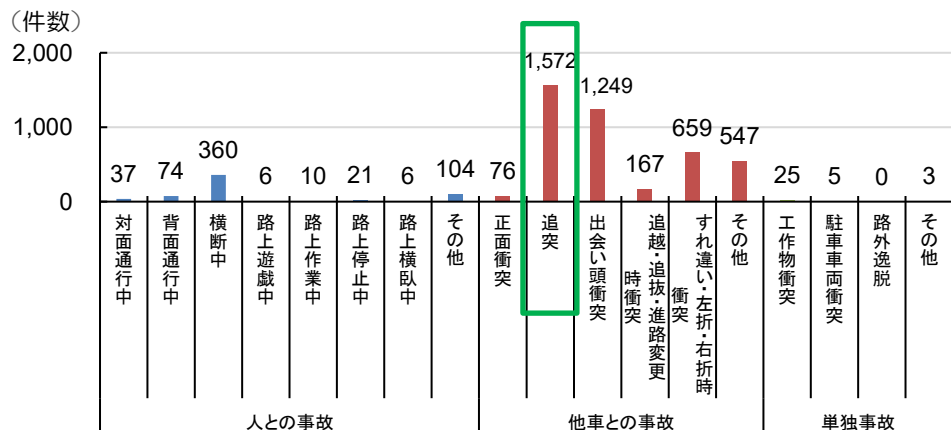
- 軽貨物の事故類型としては、「**追突**」が全体の約3割にあたる1,572件発生しており、最多。ただし、追突による**死亡事故は発生していない**。
- 軽貨物の死亡事故事故類型としては、「**横断中**」の**人との事故が最も多い**。

軽貨物の事故類型

○事故類型別件数

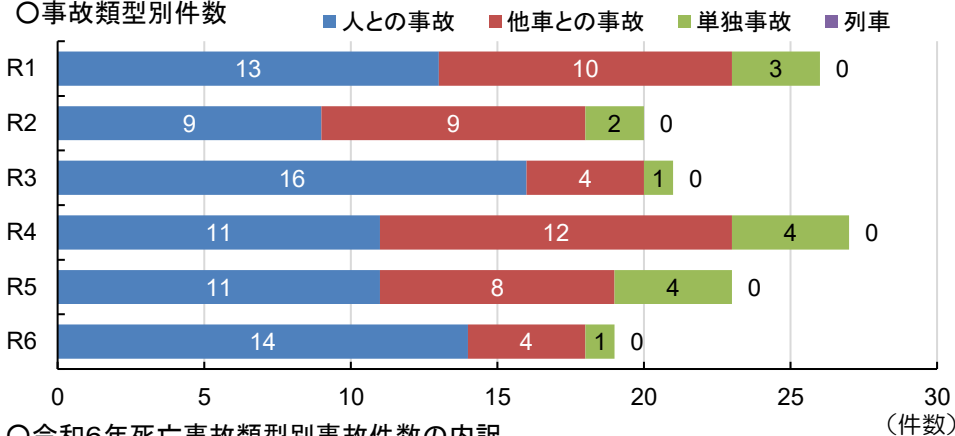


○令和6年事故類型別事故件数の内訳

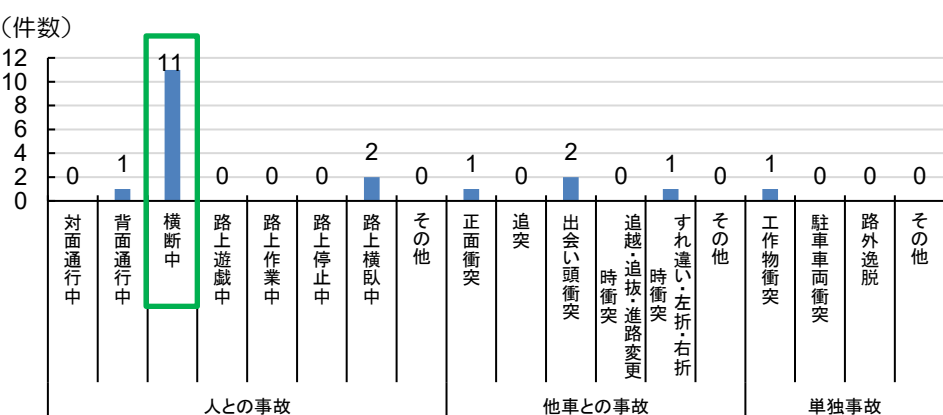


軽貨物の死亡事故類型

○事故類型別件数



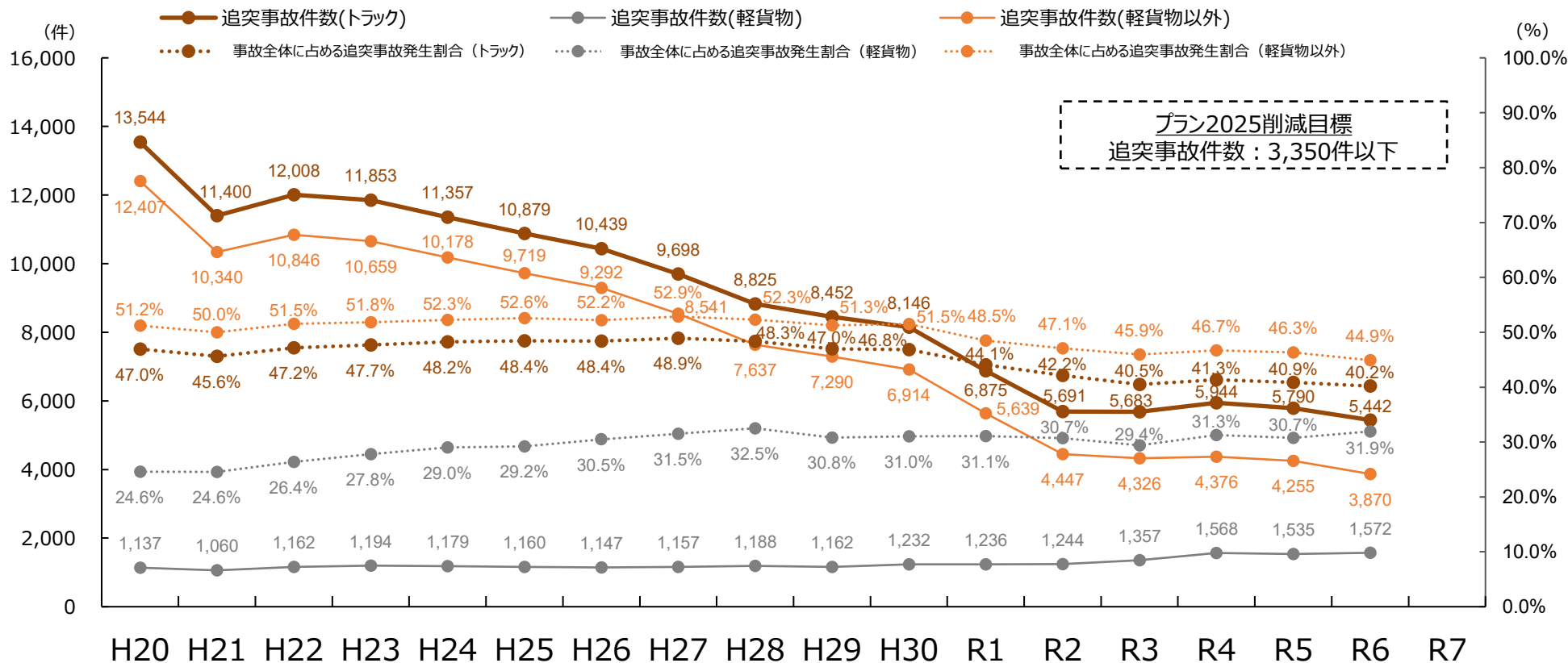
○令和6年死亡事故類型別事故件数の内訳



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- トラックによる令和6年の追突事故件数は5,442件で、令和元年と比較して1,433件減であった。
- トラック事故全体に占める追突事故件数の令和6年の発生割合は40.2%で、令和元年と比較して3.9pt減であった。

トラックによる追突事故件数と事故発生割合

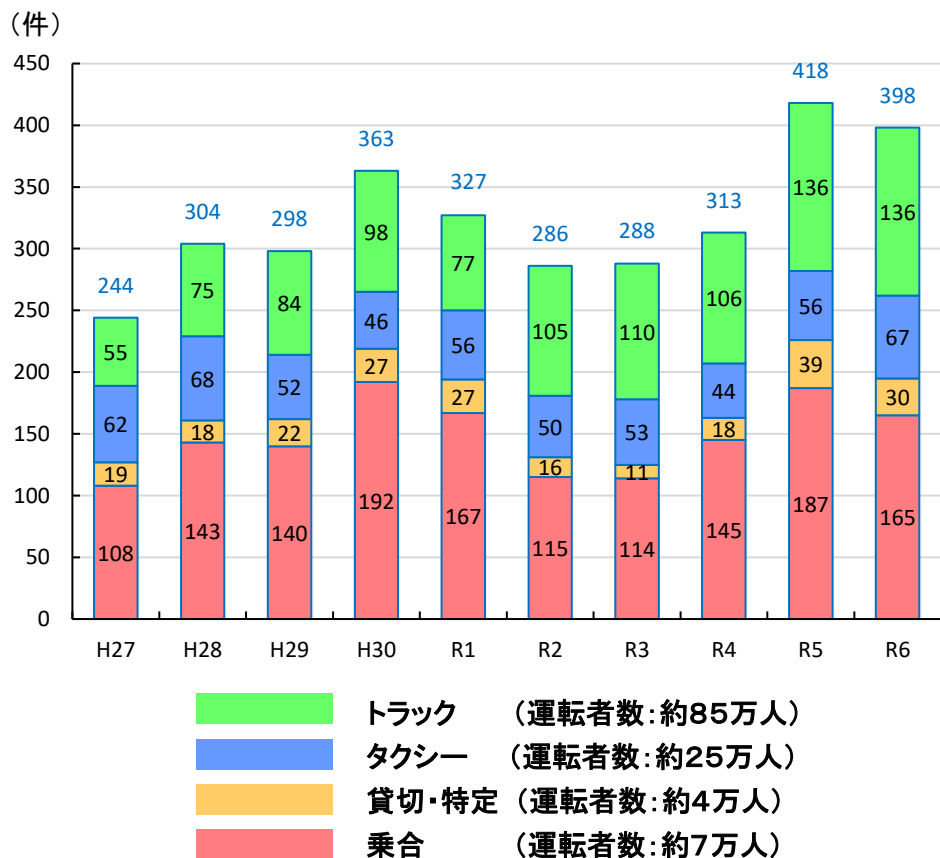


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

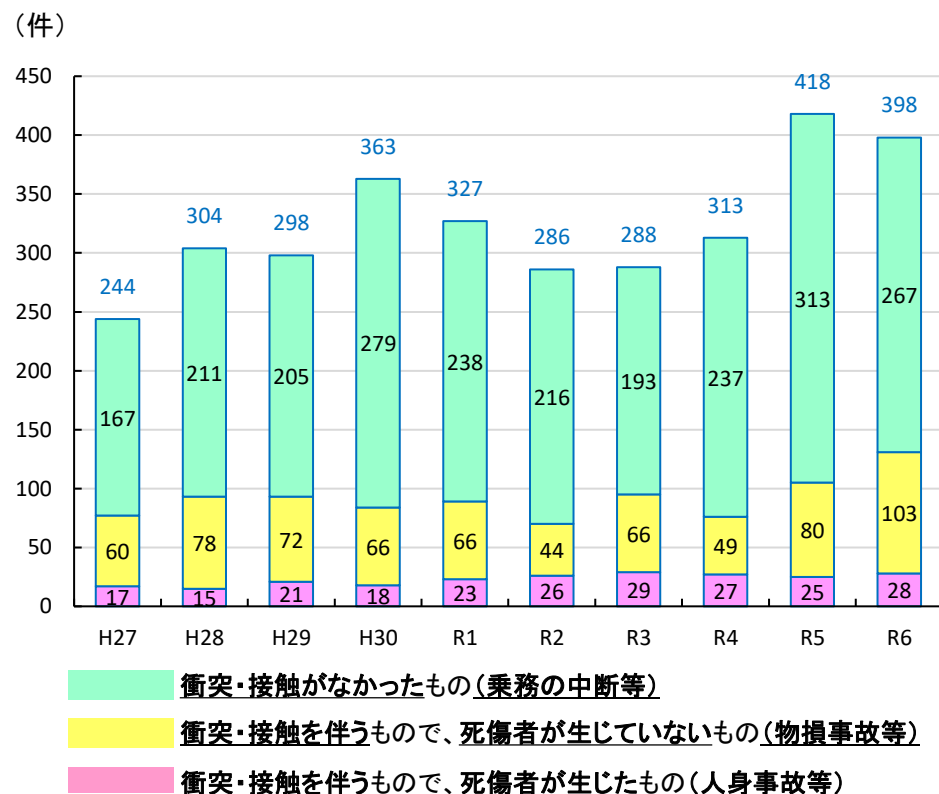
運転者の健康状態に起因する事故報告件数の推移

- 運転者の疾病により事業用自動車の運転を継続できなくなった事案として、自動車事故報告規則に基づき報告のあった件数は令和5年より減少しているものの、近年増加傾向にある。
- 令和6年は健康起因事故報告件数のうち約33%が交通事故に至っているが、人身事故件数は横ばいの状況。

健康状態に起因する事故報告件数 (業態毎の件数)



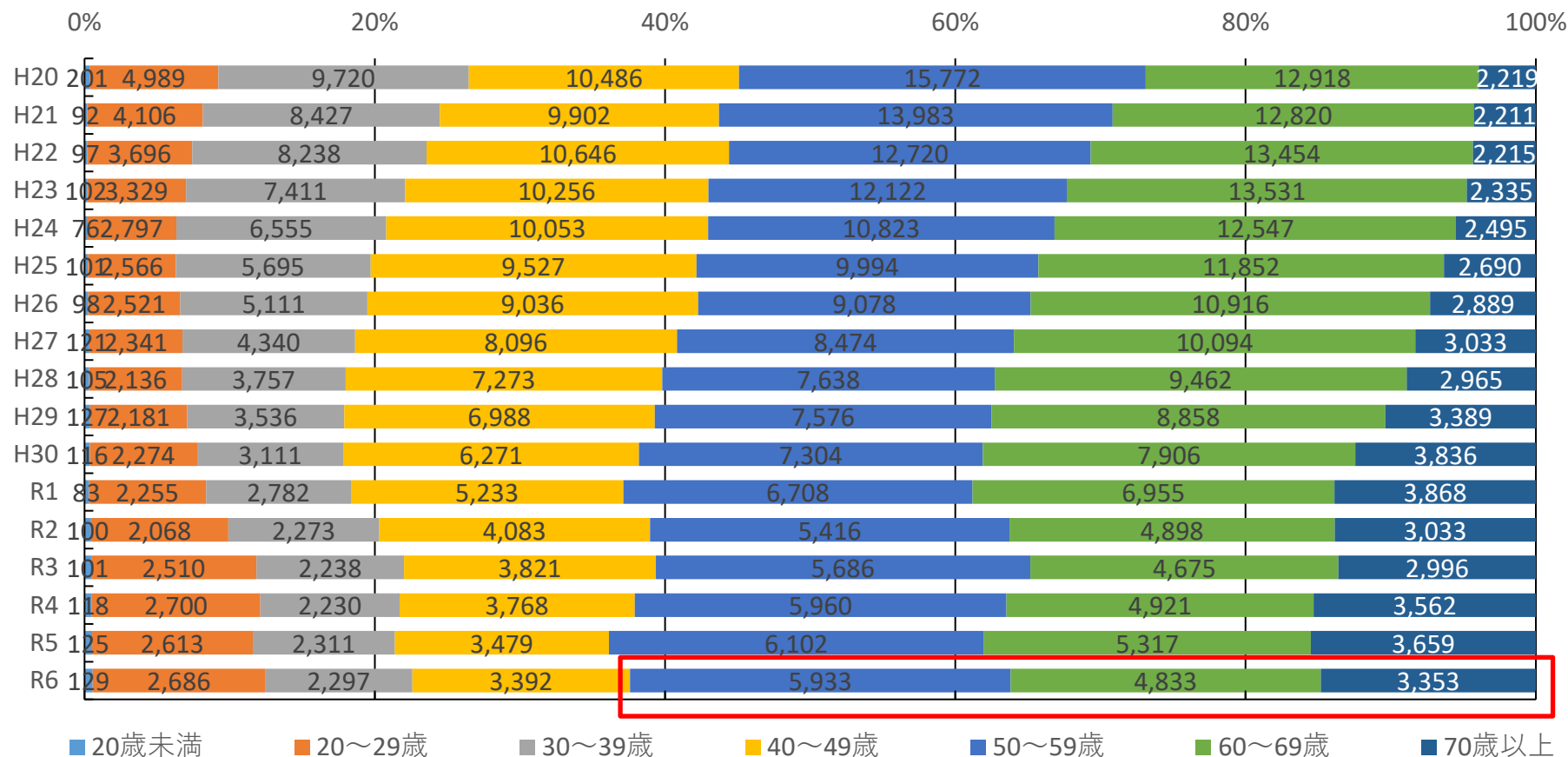
健康状態に起因する事故報告件数 (報告内容毎の件数)



運転者の年齢層別事故の推移(事業用自動車)

○ 事業用自動車の事故のうち、50歳以上の運転者による事故の割合が約6割を占める。

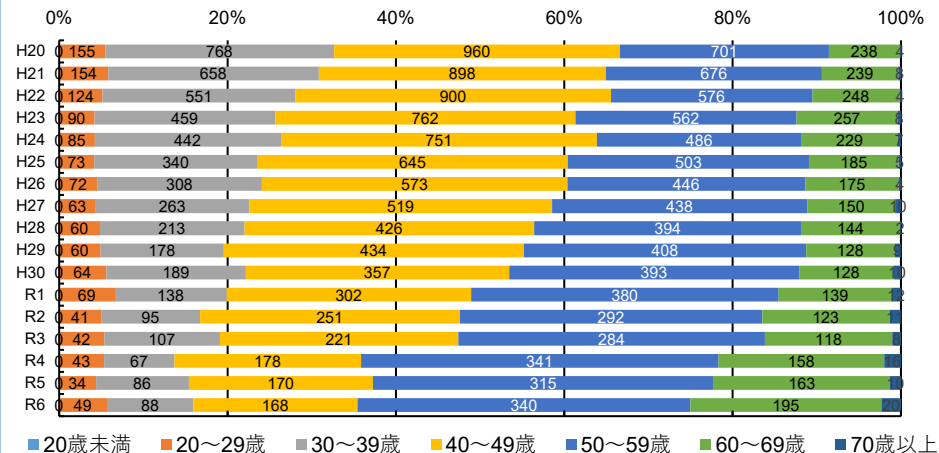
事業用自動車全体



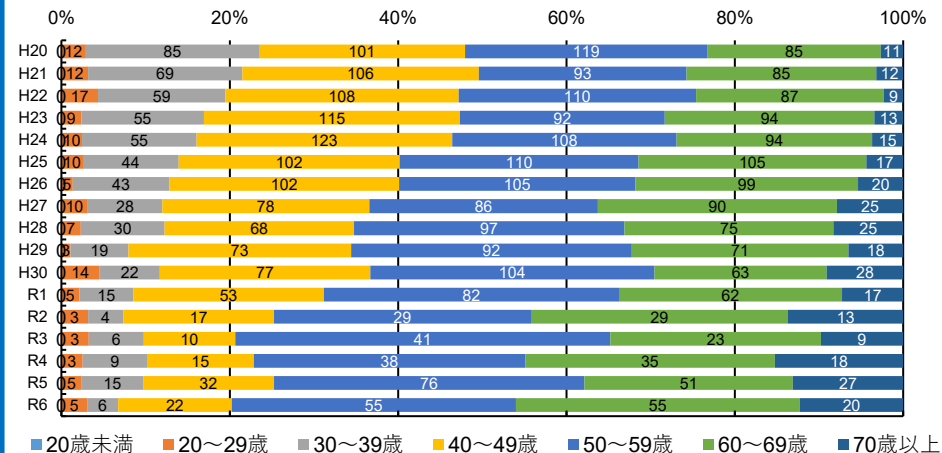
運転者の年齢層別事故の推移(バス、タクシー)

- バスは、50歳以上の運転者による事故の割合が増加傾向。
- タクシーは、70歳以上運転者による事故の割合が増加傾向。

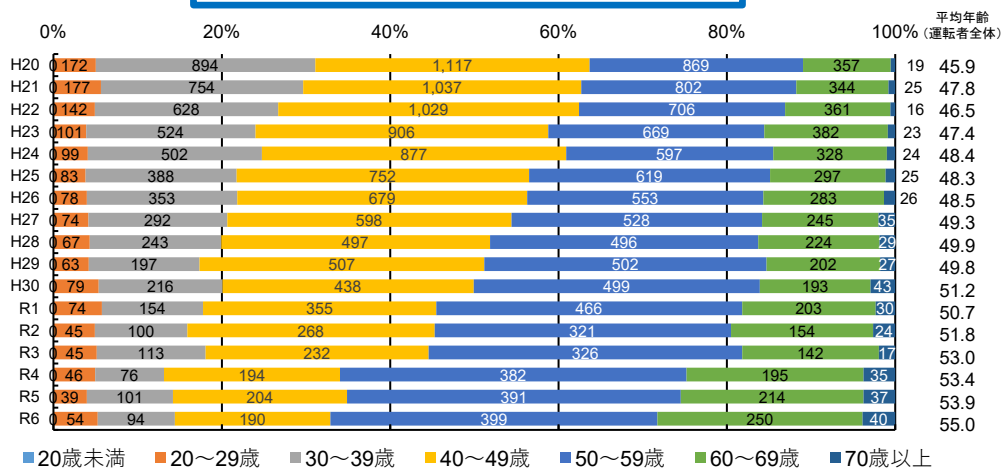
乗合バス



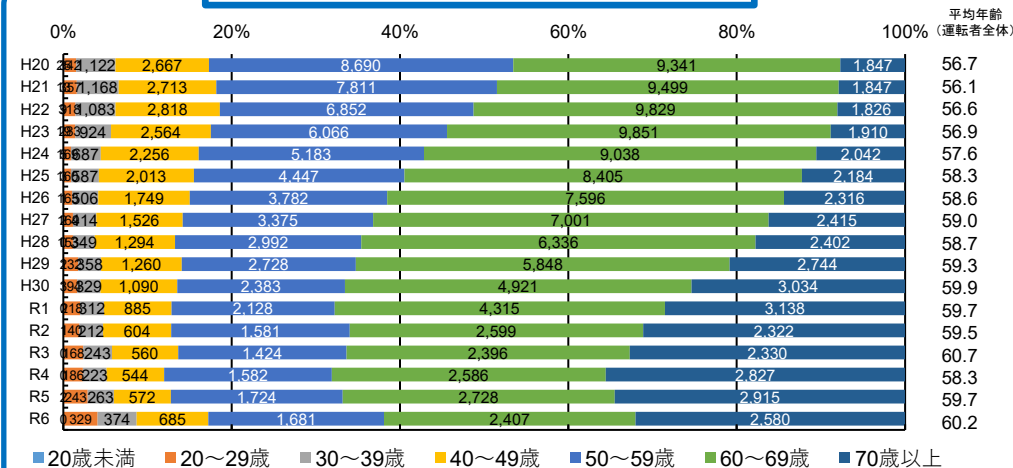
貸切バス



バス



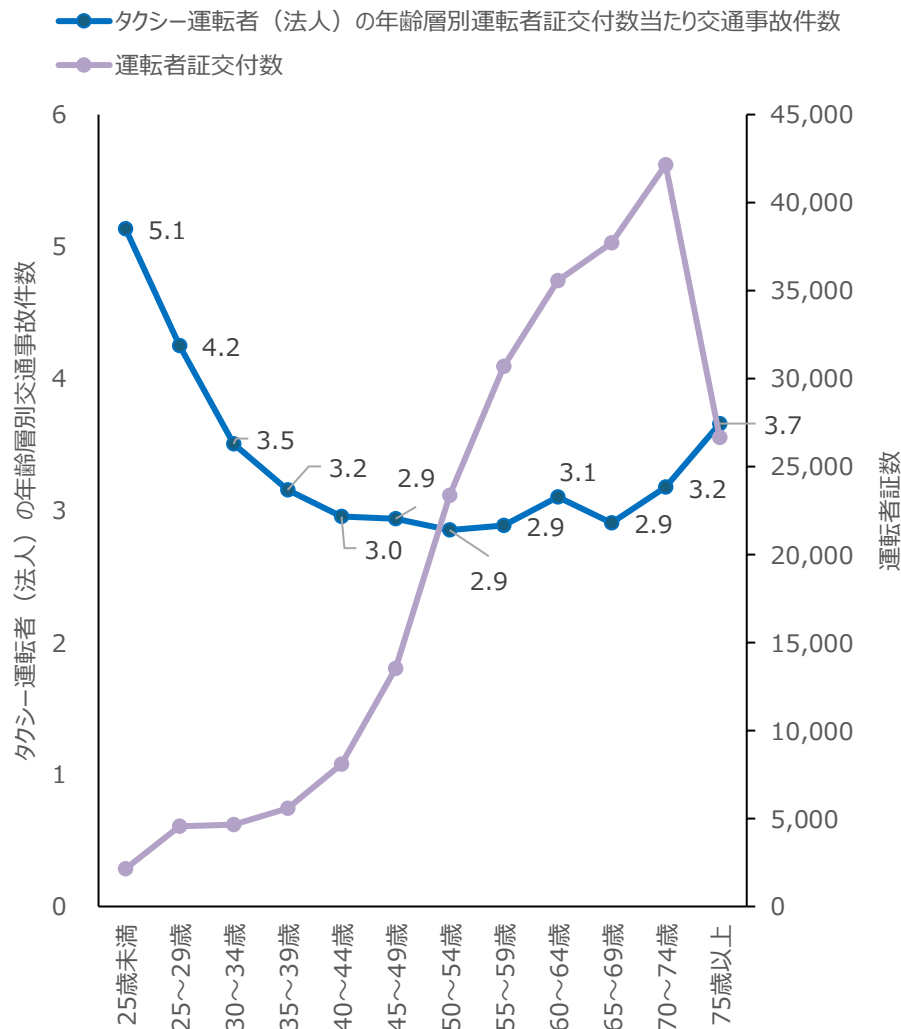
タクシー



年齢層別の運転者証交付数に対する事故件数(タクシー)

○ タクシーは、29歳以下の若年層や75歳以上の運転者による事故率が高い。この傾向は、自動車事故全体でも同様である。

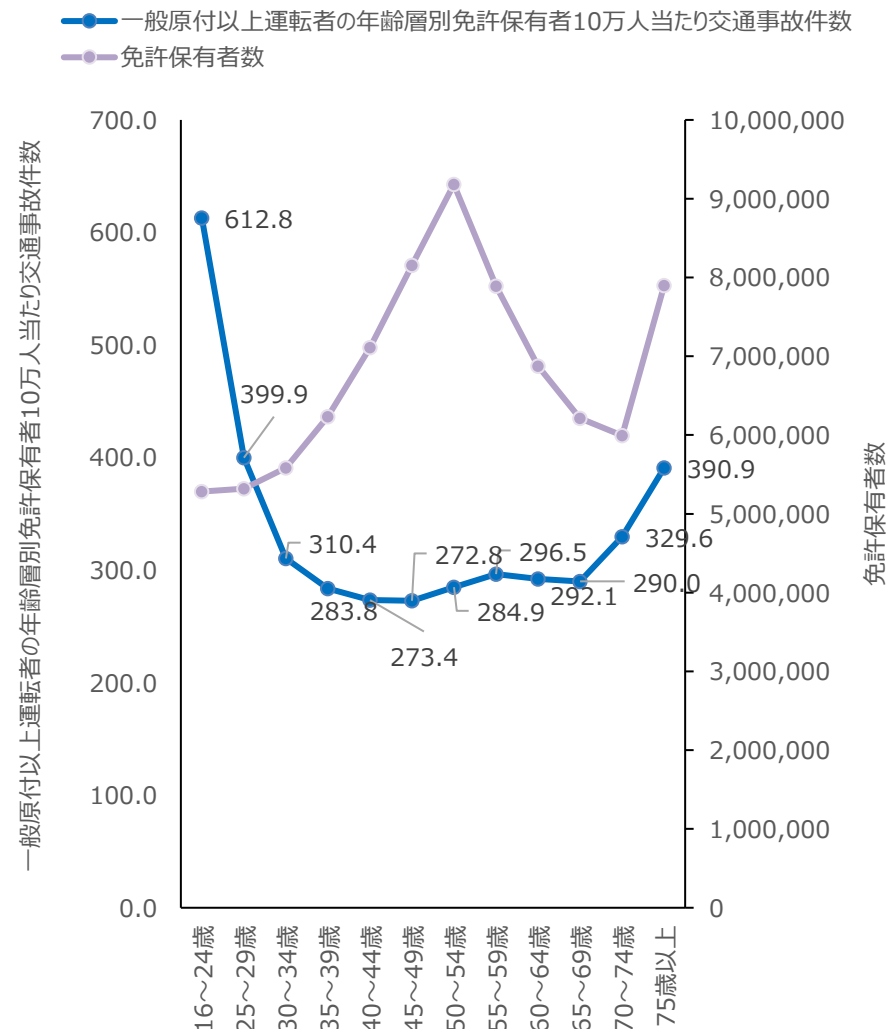
タクシー



※ 本ページに限りタクシーは法人のみのデータ

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」（令和6年）
（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会（令和6年3月）

参考（自動車全体）

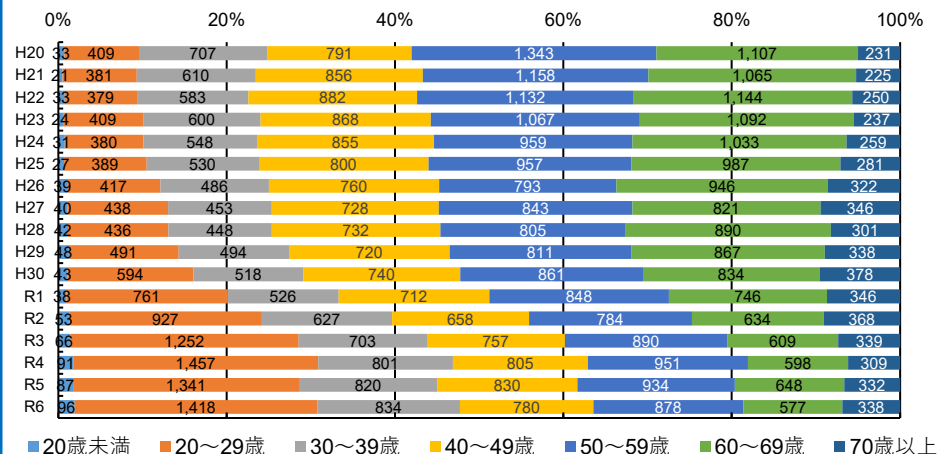


出典：警察庁「交通事故の発生状況」（令和6年）

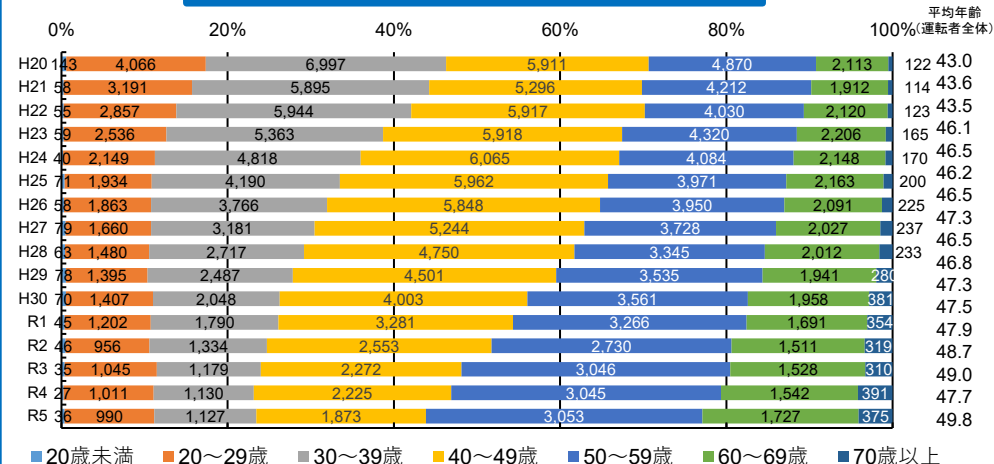
運転者の年齢別層事故の推移(トラック、事業用自動車)

- 軽貨物は、20～29歳の運転者による事故の割合が増加傾向。
- 軽貨物以外のトラックは、50歳以上の運転者による事故の割合が増加傾向。

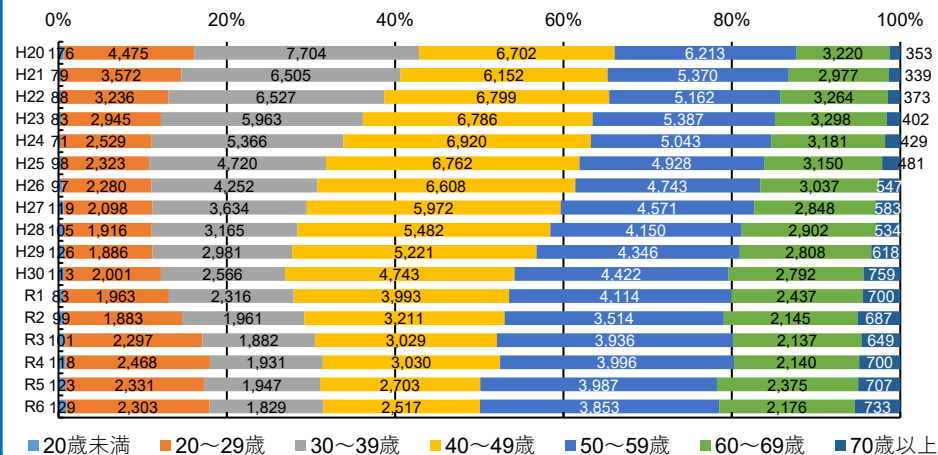
軽貨物



軽貨物以外のトラック



トラック



日本国籍以外の者における事故件数の割合

○ 日本国籍以外の者における事故件数の割合は年々増加傾向にあり、とくに軽貨物における割合が大きい。

日本国籍以外の者による事故率の割合

